

## 令和5年度

一般財団法人 道北地域旭川地場産業振興センター

# 事業報告

## 第1 基本方針

令和5年度は、新型コロナウイルス感染者の感染症法上の位置づけが5月8日から5類感染症になり、我が国の社会経済活動は3年以上に渡るコロナ禍での行動制限から解放され、同感染症流行前の状況に戻ろうとする回復機運の中にあった。

一方で、国際情勢の不安定要素の長期化による原油高や円安の進行などが急速な物価高と資材不足等を招き、市民の消費購買意欲を著しく減退させている面も大きかった。

当財団においては、新型コロナウイルス感染症対策に関連する業務を受託するなど、それ以前の通常業務とは異なる運営を行ってきたところであったが、地場製品の宣伝、普及等による地場産業の健全な育成と地域経済の活性化に向けてリスタートし、公益事業の適正な実施とともに収益構造の改善に向けて取り組んできたところである。

以下、令和5年度事業計画で示した基本方針の項目に沿って、取組を概括する。

### 1 公益事業の推進

公益事業においては、2020年以降、新型コロナウイルスの影響により開催できなかった自主事業の「地場産品フェスティバル」や旭川市等と連携し実施する「北の恵み 食べマルシェ」など、それぞれ特色を持たせ実施するとともに、「道の駅」の更なる集客力の向上に努める。

### 2 収益の確保

収益事業においては、コロナ禍においてこれまで実施されてきた大展示場でのワクチン接種会場の利用や自宅療養者への食料品等配達業務の廃止が予想されるため、本来の主要な収入源である大展示場の企業利用を拡大させていく。

その他、地域商社機能推進業務等の旭川市からの受託業務や旭山動物園正門売店運営事業などを効果的、効率的に進め、事業収益の確保に努めていく。

### 3 創意工夫と経費削減

各事業の推進に当たっては、中期経営計画（令和4年度～6年度）を着実に実施しながら、常に新たな発想，改善，見直しを念頭に創意工夫をもって取り組むとともに、各種経費の削減を図り、財政収支の向上に努める。

### 4 新型コロナウイルス感染対策

感染防止対策については、（一社）旭川物産協会や売店及びフードコートの各テナントと連携し「3蜜の回避」，「人と人との距離の確保」，「手洗い等の手指衛生」，「換気」など、国の方針に基づき、基本的な感染対策に努める。

当財団の具体的な事業は、以下のように「公益に関する事業（地場産業・地域振興支援事業）」，「収益事業」，「管理運営事業」の大きく3つに分けることができる。

<公益に関する事業（地場産業・地域振興支援事業）>

- (1) 施設提供事業
- (2) 地場産品PR事業
- (3) 道の駅事業

<収益事業>

- (1) 貸館事業
- (2) 取引斡旋事業
- (3) 旭山動物園正門売店運営事業
- (4) 地域商社機能推進業務受託事業
- (5) 新型コロナウイルス感染症軽症者等支援事業

<管理運営事業>

- (1) 一般財団法人としてのガバナンスの向上等
- (2) 支出の抑制
- (3) 施設の維持・管理
- (4) 中期経営計画の推進
- (5) 事務局体制の強化
- (6) その他

以下、令和5年度に実施してきた各事業について詳述する。

## 第2 公益に関する事業（地場産業・地域振興支援事業）

### 1 施設提供事業

地場企業や業界団体の活動を支援するため、企業等が開催する会議などの場を低廉な使用料で提供した。

収入目標 3,665 千円に対する達成率は、112.5%とコロナ感染症5類移行に伴い会議室の利用が増加したため、目標を上回る結果となった。

施設使用料収入：4,122,498 円（前年度 4,980,874 円）

施設利用状況：施設利用状況～別紙1

### 2 地場産品PR事業

#### (1) 展示会等開催事業

道北地域の地場産品や地域情報を広く販売・PRする展示会等の機会を創出し、地産地消の促進、販路開拓の支援をしながら、地場産業や地域振興に取り組むほか、各展示会において「全国道の駅物産コーナー」を設け全国の道の駅との交流を積極的に図る一方、高校生等の「学生応援ブース」、館内売店との連動企画や地元農業者団体との併催等、全館あげてのイベントとして魅力向上に努めた。

#### ア 「2023春の地場産フェア」の開催

開催期日：令和5年6月10日（土）・11日（日）の2日間

場 所：センター大展示場及び一部駐車場

出店者数：45 企業等（前年度中止）

売上実績：11,115,708 円（前年度中止）

入場者数：16,620 人（前年度中止）

本フェアでは、全国の地場産センターが集まり実演販売する全国物産交流ゾーンを設置。また学生による農産品、加工品等を販売する「学生応援ブース」を設けた。

#### イ 「2023道北の観光と地場産品フェスティバル」

開催期日：令和5年8月19日（土）・20日（日）の2日間

場 所：センター大展示場及び一部駐車場

出店者数：43 企業等（前年度中止）

売上実績：6,688,844 円（前年度中止）

入場者数：11,688 人（前年度中止）

本フェスティバルでは、駐車場お祭り広場にて、留萌管内からの出店者による「浜焼きコーナー」を設置、日本海の旬な海産品、海産加工品

のPR・販売を行った。また、上川・宗谷・留萌の観光スポット紹介コーナー「道北の観光展」を併催した。

ウ 「2023冬の地場産フェア」

開催期日：令和5年12月9日（土）10日（日）の2日間

場 所：センター大展示場及び一部駐車場

出店者数：50企業等（前年度中止）

売上実績：11,805,934円（前年度中止）

入場者数：15,246人（前年度中止）

本フェアでは、館内売店との連動企画として「お汁粉無料配布」を実施し、また、旭川果樹協会が「旭川フルーツフォーラム 2023」を併催し、旭川産りんご、なし等をPR販売、多くの人気を集め、会場を盛り上げた。

(2) 「北の恵み 食べマルシェ」事業

「北の恵み 食べマルシェ」実行委員会事務局が地場産センターに置かれ、その事務局長及び事務局員の職務を兼務しながら事務局の中核を担い、多彩で豊かな道北地域の食産業及び食文化の創造・発展・発信に寄与した。

会 期：令和5年9月16日（土）～18日（月・祝）の3日間

会 場：旭川駅前広場、旭川平和通買物公園、七条緑道、JR旭川駅

出店店舗数：240店、来場者数：814,000人

売 上：172,480,844円

### 3 道の駅事業

(1) 基本的な取組

（一社）旭川物産協会及び売店、フードコート各テナントと連携し、それぞれの商品やメニューの魅力アップ、情報発信に取り組むほか、旭川観光コンベンション協会の協力のもと、観光案内コーナーを設置し、道の駅利用者の利便性の高い施設運営に努めた。

売店では、商品の入れ替えや四季に合わせたレイアウトの変更を実施するなどして、魅力度・認知度及び集客の向上を図った。

来館者数については、前年度比114.4%、コロナ前（令和元年）の74万人に対して95.4%まで回復した。

来館者数：708,109人（前年度 618,907人）

年度別入館者数推移～別紙2

売上額：336,169,222円（前年度 353,392,715円）

なお、観光案内コーナーの設置状況は次のとおりである。

期 間：令和5年4月～令和6年3月、活動日数159日（前年度158日）

協 力：(一社) 旭川観光コンベンション協会，旭川観光ボランティア協  
議会

対応件数：延べ 9,917 件（前年度 11,043 件）

(2) その他

ア 北海道地区「道の駅」スタンプラリーへの参加

期 間：令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

応募者数：当駅での応募者数 441 件

（前年度 当駅 465 件(R4.4～R5.3)）

イ 会議関係

上川中南部地域「道の駅」連携会議への参加

道の駅南ふらの等で 10 回開催

### 第 3 収益事業

#### 1 貸館事業

大展示場の利用拡大を目指し，継続利用者の定着や積極的な営業活動による新規利用者の開拓を行うことで，使用料収入の増収，確保に繋げるとともに，地場企業や地場製品の P R 並びに消費者の誘導と地域経済の活性化に取り組んだ。

事業計画では，大展示場利用率 60%以上，大展示場使用料及び貸事務所等収入 38,666 千円を目標に掲げ営業活動を行った。企業活動も平常になりイベントを実施したことにより大展示場の使用収入は予算に対し，約 4,955 千円の増額となった。

施設使用料収入：43,621,326 円（前年度 44,394,936 円）

施設利用状況：施設利用状況～別紙 1

大展示場利用率：53.0%（前年度 50.0%）

大展示場利用件数：72 件（前年度 65 件）

なお，スポーツ利用への貸出実績は以下のとおりであるが，使用料収入は上記の施設使用料に含み，利用件数は上記件数の外数とした。

主な利用者：旭川商業高等学校，旭川東高等学校，大雪ボーイズ（少年野球）

利用件数：45 件（前年度 0 件）

## 2 取引斡旋事業

### (1) カタログ販売等

地場企業と連携して季節毎（春企画、中元期、歳暮期）のカタログによる地場産品の宣伝普及と販売に努めた。

また、大手企業との連携を強化及び地域商社機能推進業務による全国道の駅等との交流を進めた。

売上実績：32,893,737円（前年度 33,488,737円）

販売先：個人顧客（DM）、G7食品ジャパンフードサービス、  
トシン・グループ、旭山動物園くらぶ ほか

## 3 旭山動物園正門売店運営事業

売店の運営に当たっては、新商品の導入や魅力的な動物園グッズや地場産品の販売、サービスの提供に努めてきた。令和5年度は、コロナ禍後、インバウンドを含めた旅行者が増加したことにより、売店運営後、最も多い来店者及び売上となった。本売店運営については今年度で契約期間満了となることから、令和6年度以降の運営について公募に参加したが、選定されなかったため、本事業は令和5年度で終了することとなった。

販売目標：67,790,000円（前年度 31,750,000円）

売上実績：73,653,900円（前年度 64,213,929円）

取扱品数：575点（前年度 583点）

取扱企業：26社（前年度 25社）

## 4 地域商社機能推進業務受託事業（旭川市受託事業）

道北地域の地場企業を対象とした販路開拓支援機能の構築を目的として、道外の道の駅との相互交流や大手企業の福利厚生部門への営業等による市場形成に向けた取組を推進したが、交流道の駅販売の実績が減少したため、販売金額は前年度比90.4%と減少した。

実施期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

取扱事業者：61社（前年度 50社）

取扱品数：309点（前年度 293点）

販売金額：14,528,211円（前年度 15,645,812円）

受託事業収入：1,999,140円（前年度 2,343,000円）

交流道の駅等

・つるた（青森）、世羅（広島）、よつて西土佐（高知）など道の駅22箇所（前年度 21駅）

・三井住友海上（福利厚生販売）、NEC（福利厚生販売）、みずほ銀行（社員食堂）ほか

## 5 新型コロナウイルス感染症軽症者等支援事業（旭川市受託事業）

令和3年6月より旭川市から委託された自宅療養者への食料品等の配達業務については、国の制度変更（第5類への移行）となり業務終了となった。

実施期間：令和5年4月1日～令和5年5月31日

取扱件数：970件（Aセット915件，Cセット3件，Dセット52件）

（前年度57,346件（Aセット34,798件，Bセット18,408件，Cセット624件，Dセット3,516件）

受託事業収入：27,391,000円（前年度2,091,516,100円）

## 第4 管理運営事業

### 1 一般財団法人としてのガバナンスの向上等

平成25年4月1日付で一般財団法人に移行し、改革の趣旨である法人組織のガバナンスの向上、民の立場から公益の増進に寄与するという役割を果たすとともに、認可された公益目的支出計画の達成に努めた。

### 2 支出の抑制

大展示場及び外灯、24時間通路をLED照明機器に交換し、光熱水費の抑制に努めた。

### 3 施設の維持・管理

施設を安全かつ快適に利用できるよう管理、点検、修繕に努めた。

主な修繕等：照明設備LED化更新工事（展示場，1階通路，外灯，他）  
受変電設備更新工事，自動ドア外部ガイドレール交換工事，  
展示場ドアフロアヒンジ交換工事，駐車場大型車専用看板設置工事，2階貸室無線AP設置工事等

### 4 中期経営計画の推進

中期経営計画に基づく取組を実施し、経営の自立化を目指した健全経営に努めた。

### 5 事務局体制の強化

事務局体制（令和6年3月31日現在）

・常勤役員（専務理事）1名 ・事務局員12名（再雇用・嘱託職員等含む）

令和6年3月末で再雇用職員が1名退職となることから、令和5年10月に新規正職員1名を採用し、令和6年度からは正職員3名、再雇用職員2名体制とした。

## 6 その他

### (1) 理事会

#### ア 令和5年度第1回臨時理事会の開催（書面決議）

期 日：令和5年4月3日（月）

議 案：第1号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センターの重要な使用人（事務局長）の選任について

#### イ 令和5年度第2回臨時理事会の開催（書面決議）

期 日：令和5年5月30日（火）

議 案：第1号 令和5年度一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター第1回臨時評議員会の開催日時及び場所並びに目的である事項について

#### ウ 令和5年度第1回定例理事会の開催

期 日：令和5年6月20日（火）

議 案：第1号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター令和4年度事業報告について

第2号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター令和4年度決算について

第3号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター令和4年度公益目的支出計画実施報告書について

第4号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター令和5年度定時評議員会の開催日時及び場所並びに目的である事項について

#### エ 令和5年度第3回臨時理事会の開催（書面決議）

期 日：令和5年7月3日（月）

議 案：第1号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センターの理事長、副理事長及び専務理事の選任について

#### オ 令和5年度第2回定例理事会の開催

期 日：令和6年2月29日（木）



- 議案：第1号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和6年度事業計画について
- 第2号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和6年度収支予算について
- 第3号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和5年度第2回臨時評議員会の開催日時及び場所  
並びに目的である事項について

カ 令和5年度第4回臨時理事会の開催（書面決議）

期日：令和6年3月29日（金）

- 議案：第1号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
専務理事の選定について
- 第2号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
重要な使用人（事務局長）の選任について

(2) 評議員会

ア 令和5年度第1回臨時評議員会の開催（書面決議）

期日：令和5年6月5日（月）

- 議案：第1号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
の理事の選任について
- 第2号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
の評議員の選任について

イ 令和5年度定時評議員会の開催

期日：令和5年6月29日（木）

- 議案：第1号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和4年度事業報告について
- 第2号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和4年度決算について
- 第3号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
令和4年度公益目的支出計画実施報告書について
- 第4号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
任期満了に伴う理事の選任について
- 第5号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
任意満了に伴う監事の選任について

ウ 令和5年度第2回臨時評議員会の開催

期 日：令和6年3月28日（木）

議 案：第1号 令和6年度一般財団法人道北地域旭川地場産業振興  
センター事業計画について

第2号 令和6年度一般財団法人道北地域旭川地場産業振興  
センター収支予算について

第3号 一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター  
辞任に伴う理事の選任について

(3) 旭川食品産業支援センターへの参加

(4) (一社)旭川観光コンベンション協会への参加

(5) 旭川地域産品マーケティング支援事業実行委員会への参加

(6) あさひかわ推進法人連絡協議会への参加

## 令和5年度事業報告の附属明細書について

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

# 令和5年度施設利用状況調べ

別紙1

(小数点第2位以下四捨五入)

月別	開館日数 (日)	大展示場		会議室		研修室		研究開発室(2)		研究開発室(3)	
		利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利用日数 (日)	利用率 (%)
4	29	16	55.2%	13	44.8%	14	48.3%	11	37.9%	29	100.0%
5	30	11	36.7%	13	43.3%	11	36.7%	11	36.7%	30	100.0%
6	29	20	69.0%	19	65.5%	10	34.5%	16	55.2%	29	100.0%
7	30	14	46.7%	12	40.0%	8	26.7%	11	36.7%	30	100.0%
8	30	16	53.3%	12	40.0%	12	40.0%	12	40.0%	30	100.0%
9	29	20	69.0%	21	72.4%	11	37.9%	13	44.8%	29	100.0%
10	30	26	86.7%	16	53.3%	6	20.0%	11	36.7%	30	100.0%
11	29	13	44.8%	13	44.8%	13	44.8%	15	51.7%	2	6.9%
12	28	14	50.0%	3	10.7%	3	10.7%	9	32.1%	1	3.6%
1	27	1	3.7%	11	40.7%	7	25.9%	12	44.4%	3	11.1%
2	28	14	50.0%	13	46.4%	19	67.9%	14	50.0%	9	32.1%
3	30	20	66.7%	8	26.7%	7	23.3%	10	33.3%	9	30.0%
計	349	185	53.0%	154	44.1%	121	34.7%	145	41.5%	231	66.2%

※研究開発室(3)については、食ベマルシェ事務局として貸出(4月~10月)。

## ・令和4年度施設利用状況

計	348	174	50.0%	174	50.0%	125	35.9%	144	41.4%	300	86.2%
---	-----	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(注) 合計欄の平均利用は、 $\frac{\text{利用日数}}{\text{延開館日数}}$  で算出したものである。

## 道の駅あさひかわ 入館者数

別紙 2
------

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
4月	61,688人	22,273人	38,042人	43,934人	49,671人
5月	70,265人	18,408人	34,926人	57,436人	64,954人
6月	91,255人	31,971人	34,127人	60,565人	80,404人
7月	80,637人	56,881人	61,902人	71,867人	78,917人
8月	95,580人	53,779人	55,222人	73,431人	88,370人
9月	80,930人	50,344人	34,903人	65,378人	72,209人
10月	69,348人	48,446人	44,631人	57,627人	73,652人
11月	49,209人	35,361人	40,169人	39,355人	44,387人
12月	36,827人	25,731人	33,599人	33,881人	36,952人
1月	35,716人	26,968人	27,920人	32,875人	29,856人
2月	41,482人	26,962人	32,884人	36,762人	42,373人
3月	29,432人	35,351人	40,237人	45,796人	46,364人
合計	742,369人	432,475人	478,562人	618,907人	708,109人